

「総合的な学習」の取り組み

足利市立北中学校

1 「総合的な学習」のねらい

「総合的な学習」をすすめるにあたり、本校では次の4点をねらいとして上げた。

- (1) 課題解決的な学習
 - ・自分で課題を見つけ、学ぶこと
 - ・自分で考え、判断しながら問題を解決すること
- (2) 学び方の重視と体験的な学習
 - ・情報を適切に収集し、調べ学習ができること
 - ・適切な報告や発表ができるようになること
- (3) 探求学習
 - ・主体的で創造的な解決活動ができること
- (4) 生き方の重視
 - ・自分を見つけることで自分の生き方について自覚できるようになること

これらのねらいは、教師と生徒が共有することでより具体的になるとの考え方のもとに、次のような「生徒のためのねらい」を策定した。

- (1) 自分の課題を見つけ、取り組む
- (2) 自分なりの表現ができる
- (3) 互いのよさを認め、協力する

2 「総合的な学習」の取り組み

本校は、平成11年度より教育改革プロジェクトを設立し、「教育改革推進委員会」を中心に取り組みをすすめてきた。「教育改革推進委員会」は、「教科」「道徳」「特別活動」「総合的な学習」の4部会を組織し、2002年に向けての研究を深めてきた。

「総合的な学習」は、その1つの部会として取り組まれたが、平成11年度、12年度は重点部会としてその研究を実践してきた。平成11年度の基礎研究を基に、平成12年度は「総合的な学習」の試行が決定された。

ここでは、次のような課題が提示された。

- (1) 生徒が自分の課題を見つけるためにどのような方法を準備するか。
 - ・ガイダンスの内容と提示方法
 - ・教師の共通理解と自己研修
- (2) 情報収集、調べ学習、まとめの資料づくりのためのメディア学習をどうすすめるか。
- (3) 解決学習を進める段階で、教師がどの時間にどの場面でどう評価するか。
- (4) 発表の場として文化祭を設定するが、どのような計画ですすめたらよいか。

3 「総合的な学習」基礎研究の経過

(1) 平成11年度教育改革プロジェクト実施構想

ア 基本構想(抜粋)

「生きる力を培う特色ある学校づくり」(共通テーマ)

- ・特色ある学校づくりは意図して目指すものでない。伝統の中で培われたものを基盤とする。
- ・各学校の「特色」は学校課題に向けた取り組みの、結果から自然と出てくるものであること。

イ 今後の主な取り組み

- (ア) 「必修教科」「選択教科」の取り組み
- (イ) 「総合的な学習の時間」への取り組み
- (ウ) 開かれた学校
- (エ) 心の教育に向けて(全教育活動を通しての道德教育の充実)

ウ 研究組織(略)

エ 研究計画

(ア) 総合部会

11 年 度	<ul style="list-style-type: none">・「総合的な学習の時間」について先行研究の資料提示(収集した内容を主担当が職員へ伝達講習)、外部講師招聘による研修会の実施・ねらいについて本校なりの自校化、検討。・実施に向けての計画づくり・保護者、生徒向けオリエンテーション(ガイダンス)資料づくり・12年度教育課程編成について検討(「総合的な時間」の時数の取り方、時数計画を中心に)等・環境整備計画と整備、基本的な構想づくり、具体的なカリキュラムづくり(第1段階)を中心とする・ねらい ・テーマ ・オリエンテーション(ガイダンス)
--------------	--

- (イ) 教科部会(必修、選択)……(略)
- (ウ) 道德部会……(略)
- (エ) 教育課程部会……(略)

(2) 「総合的な学習」のねらい策定

ア 教育改革部会(総合部会)での討議

ここでは、ねらいの自校化を図るために「総合的な学習」についての本校としてのねらいや実施に向けての展望について討議された。

- (ア) 生徒の実態をどのように捉えるか
- (イ) 生徒に身につけさせたい力、能力をどう考えるか
- (ウ) 実施に向けての展望はどうか。

イ ねらいの策定と「北の里探検隊」

「総合的な学習」のねらいは、生徒にわかりやすい表現を工夫した。学習を進めるには、「こうすればいいんだな」「このような態度で取り組めばいいんだな」という生徒の側の視

点で3つのねらいにまとめられた。ここでは、『総合的な学習』で培う資質・能力（総合教育センター）から抽出したキーワードをまとめる形で作成した。

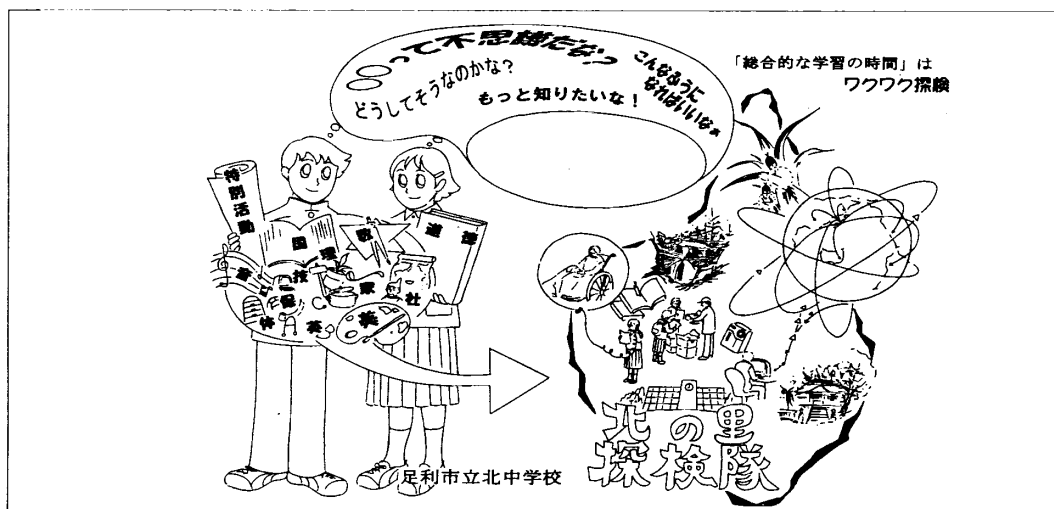
北中の「総合的な学習」のねらい

- ① 自分の課題を見つけ、取り組む
- ② 自分なりの表現ができる
- ③ 互いのよさを認め、協力する

また、北中の「総合的な学習」の名称を「北の里探検隊」とした。これは、生徒が生活している地域を掘り起こすこと。地域のよさを知るとともに、地域の人々との交流を通して地域の一員としての自覚を深め、足元をきちんと見つめること。出発点を確立し、さらに広い視野で発展してゆく可能性も期待している。

(3) ガイダンス資料の作成

「総合的な学習」とはどのようなものかを生徒にわかりやすくガイダンスするため、文章の説明でなく絵を使っての説明とすることにした。



北の里探検隊

(4) 平成12年度に向けての研究推進構想

ア 推進構想図 (略)

イ 12、13年度 「総合的な学習の時間」研究実践に向けて

12 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12年度教育課程編成の再確認 ・ 実施構想図の再確認 ・ 本校としての「総合的な学習の時間」のねらい、テーマについて再確認 ・ 「総合的な学習の時間」のカリキュラムづくり (メディア学習並びに、テーマ〔課題づくり、追求、発表〕学習、評価の素案検討) ・ 環境整備計画と整備、教材・教具、ワークシート等の整備 ・ 保護者、生徒向けオリエンテーション(ガイダンス)の実施 ・ 「総合的な学習の時間」の試行実施 ・ 文化祭にて発表 ・ 本年度の試行を振り返り、反省に基づき修正を加え来年度の準備をはかる。 (後期は現学習指導要領に基づく11年度教育課程にもどす)
--------------	--

13 年 度	・「総合的な学習の時間」の試行実施（並行して評価研究）
	ガイダンス
	メディア学習
	課題づくり
	課題追求
	まとめ 発表

4 「総合的な学習」の実践

(1) 「総合的な学習」の教育課程

ア 教育課程 [各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の年間時数]

	領域	教科	1 年	2 年	3 年
上段11年度 中段12年度 下段14年度	各教科	国語	175	140	140
			157	140	140
			140	105	105
		音楽	70	70上限	35
			70	52	35
			45	35	35
	選択	音美体技			70
		国社数理			52
		(英)	0~30	50~85	105~165
	総合的な学習		0	0	
			18	18	
			70~100	70~105	70~130

イ 時間割への位置づけについて

(前期予定)

	月	火	水	木	金	土
4校時			運営委員会		1年学活	
5校時	2年選択	2年学活	3年選択	3年学活	1年総合	
6校時		2年総合		3年総合		

(後期予定) 略

(2) 文化祭実施構想

「総合的な学習」の発表の場が文化祭となるため、文化祭との関連を考え基本構想を設定した。

平成12年度 第6回北中ミレニアム文化祭実施構想

メインテーマ 『輝け！未来へ続く北中文化はばだけ！新世紀に向けて』

サブテーマ 「北の里探検隊」

1. 目 標

- (1) 生徒の『生きる力の育成』をめざし、企画・準備・運営など生徒の主体的な活動を支壊し、創造する能力を高める。
- (2) 『北の里探検隊』の学習活動を通し、特色ある文化祭を目指す。

(3) 「総合的な学習」のための指導計画（学習過程）と指導時数

過 程	時 間	ね ら い	方 法 や 内 容	指 導 の ポ イ ン ト
オリエンテーション	2時間	「総合的な学習の時間」の理解イメージを持たせる	<ul style="list-style-type: none"> ・先進校のビデオ視聴 ・教師による資料を用いた説明 ・教師による寸劇電話のかけ方、福祉体験、資料収集 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習」とは何か ・「総合的な学習」は他の授業とどこが違うか ・他の教科との関係はどうなっているのか ・テーマの決め方はどのようにしたらよいか
メディア学習	2時間	生徒がテーマに基づき、情報を収集して選択・処理し、自分なりの考えをまとめ、発信する情報活用能力の手段を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用のしかた ・新聞の利用 ・新聞形式によるまとめ方 ・OHPの使い方、TPシートの作成のしかた ・デジカメ、ビデオカメラの活用のしかた ・インターネットを中心とするコンピュータの活用のしかた ・コピー機や電話活用のルール 	<ul style="list-style-type: none"> ・索引指導等も含む ・技術科との関連をはかる
テーマ設定 計画学習	2時間	クラステーマを設定し、グループテーマを決定するテーマ追求のための計画をたてる	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループ、個人のテーマを知って自分のテーマの確認や修正を行い、計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ探しのために校内、校外の施設利用がしやすい状況をつくる。
テーマ学習	10時間	活動計画に基づいて、テーマを追求する	<ul style="list-style-type: none"> ・調査（本、パンフ、新聞、アンケート、電話） ・体験（福祉、ボランティア、調理、実験・観察、製作） ・見学、インタビュー・外部講師の招聘 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめは各教室に集まり活動目的や活動の留意点などを話し合う ・活動の終わりには、再度集まり、活動の評価、報告や次週の活動計画を確認し合う

まとめ学習	4時間	テーマ学習で追求してきた課題についてまとめ、発表の準備をする。 プレ・発表の場面も設ける		
発表会	文化祭	研究テーマについて発表し合い、研究成果を共有する		・教師や生徒の評価と励ましから、次の学習への意欲を高める場とする。

(4) オリエンテーション（ガイダンス）の指導（略）

〔資料〕

「北の里探検隊」学習記録 年 組 番 名前

日 時	月 日 () 第 校時		
学 習 内 容			
活 動 場 所			
学 習 評 価		まだまだ	Good
	1. 今日の「学習のポイント」をつかんでいたか。	1・2・3・4	
	2. 計画通り活動できたか。	1・2・3・4	
	3. 意欲的に取り組めたか。	1・2・3・4	
	4. 学習に満足することができたか。	1・2・3・4	
今日やったこと、わかったこと		次回への確認 月 日 ()	
〔感想・反省〕		教師の検印	

(5) 地域学習会（現職教育）略

(6) クラス別テーマ一覧（略）

(7) 「総合的な学習」のまとめ (用紙)

ア 生徒のまとめ

「北の里探検隊」レポート

年 組 番 氏名

私の課題		
課題設定の目的・動機 「なぜ自分はこの課題を選んだのか」 課題設定のきっかけをわかりやすく書く。 読み手の関心をひきつける。		
課題追究の方法 どのように調べたのかを、順番に、具体的に書く。 ・文献調査 ・現地調査 ・アンケート調査 ・インタビュー ・体験 ・その他 (具体的に書いてください。)		
方法	調べた場所・人	調べたこと
(例) 文献調査	県立図書館	雪の水田について
研究の内容 調べた結果を、文章や表、図、グラフにまとめる。 図や表は、自分で作ったもの。 資料は、どこから引用したか書く。 写真も貼っても良い。(説明を書く。)		
		読みやすい文章 ①はっきり書ける。 ②文は短く。 ③一つの文で言うことは一つ。 ④みんながわかる言葉で書く。
わかったこと 考えたこと 感じたこと		
できたこと いろいろな雑誌や資料などを使えてできるようになったこと 取材や訪問などを通してできるようになったこと 出会った人やお世話になった人との関わりを通して学んだこと		
これから学びたいこと		

イ 教師のまとめ

平成12年度「総合的な学習」を振り返って
名前()

1. 本校で行った学校テーマ「北の里探検隊」はどうでしょうか。(ご意見をお願いします。)
「総合的な学習」から「総合的な学習」の「課題」を見つけ、追究していく。
 身近な課題を出発点にしないと、自分にとって「意義ある課題」を見つけ学習しにくい。

2. 本年度の総合的な学習を振り返ってお書き下さい。
 (1) 全体的なこと
 (2) 個々の学習活動
 ①オリエンテーション
 ②メディア学習
 ③テーマ設定(共通テーマおよびグループ・個人テーマ)
 ④課題追究活動
 ⑤まとめ
 (3) 「総合的な学習」のねらい(下の3つ)は、どの程度達成されたとお考えでしょうか。
 ①自分の課題をみつけ、取り組む。
 ②自分なりの表現ができる。
 ③互いの良さを認め、協力する。

3. 来年度の総合的な学習に関するご意見をお願いします。
 (1) 生徒の学習した「成果」を発表する場、方法について
 (2) 生徒の学習を「評価」する方法について
 (3) 「総合的な学習」を行うにあたって、各「必修教科」および「外国語(英語)」の学習で、「こういう内容はしっかり学んでおく必要がある」と、先生方が感じにられたことがありましたら、お書き下さい。

(8) 「総合的な学習」の評価 (用紙) 略

5 「総合的な学習」取り組みの成果と今後の課題

(1) 成 果

- ア 学習の場が広がり、調査活動などを通して生徒は多種多様な体験を得ることができた。
- イ 追究学習の過程で各種のメディアを活用しようとする態度が育った。
- ウ 発表の形態を工夫することにより表現が豊かになった。
- エ 教師は、「総合的な学習」に対する理解が深まり、その取り組みの中から問題を抽出することができた。

(2) 今後の課題

- ア 研究目的と研究結果の関連性を深めることが難しく、研究過程の指導が重要である。
- イ 学習の各段階で、自己評価をすること、また教師との話し合い等で方向性を確認する作業が必要である。
- ウ 「総合的な学習」のねらいに基づき評価に対する過程を整理し、評価基準の検討を進める必要がある。
- エ テーマ別に教師が担当するなど組織を改めて工夫する必要がある。

評

北中学校では、新教育課程の実施に向けて、平成11年度より、学校としての教育改革プロジェクトを設立し、研究を重ねてきました。「総合的な学習の時間」の研究についてもその教育改革プロジェクトの中の一つの部会として組織付けられて研究されてきており、教育改革の全体像を捉える中で、「総合的な学習の時間」について北中学校としての取り組みを明らかにしようとしてきました。総合的な学習の時間は既存の教科等の枠を越えた横断的・総合的な学習を実施するものであることや各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を生み出していくことが求められており、そのためには、まず、学校内での協力態勢の確立や総合的な学習の時間についての共通理解を深めていくことが重要だと考えますが、北中学校のこの2年間の取り組みは、その具体的な在り方を示していただいたといえます。

特に、まず学校としての総合的な学習の時間のねらいやテーマについて明らかにされたこと。学校としてのねらいを明確にされるだけでなく、それについて教師と生徒で共有化し、共に総合的な学習の時間をつくっていくために「生徒のためのねらい」を策定されたこと。生徒のみならず保護者に対してもオリエンテーションを実施するなど、開かれた学校づくりを目指す中で、総合的な学習の時間が展開されてきています。これらの取り組みは、新しい学習である総合的な学習の時間をどうつくり上げていくべきかについて、大いに参考になるものと考えます。

さらに学習過程を明確にされた指導計画により、総合的な学習の時間で重視されている問題解決的な学習の充実が図られるものと考えられます。また、評価についての研究を今後の課題とされていますが、総合的な学習の時間において主体的な学習活動を展開させるために、評価の視点から総合的な学習の時間を組み立てていくことが重要になると考えられます。その意味で、北中学校の今後の研究にも期待したいと考えます。